

令和 7 年度第 2 回長久手市環境審議会 会議録

(敬称略)

日時	令和 7 年 10 月 17 日 午前 10 時から午前 10 時 40 分まで
場所	ながくてエコハウス 多目的室（対面及びオンライン併用）
出席者	<p>委員 14 人中 11 人出席</p> <p>会長 伊藤雅一（学識経験委員）</p> <p>委員 荒川俊史（企業選出委員）</p> <p>委員 中野純希（企業選出委員）</p> <p>委員 山本崇宏（企業選出委員）</p> <p>委員 稲葉明寛（企業選出委員）（zoom 参加）</p> <p>委員 磯部満（企業選出委員）</p> <p>委員 川本幸政（企業選出委員）</p> <p>委員 梶村有希（公募委員）</p> <p>委員 天王寺朋恵（公募委員）</p> <p>委員 田中智成（公募委員）</p> <p>委員 青山真里子（公募委員）</p> <p>市（事務局）</p> <p>くらし文化部長 磯村和慶</p> <p>くらし文化部次長兼環境課長 近藤泰介</p> <p>同課環境政策係長 森健一</p> <p>同課ごみ減量推進係長 大谷悠</p> <p>同課環境保全係長 神藤貴司</p> <p>コンサルタント業者 3 人</p>
欠席者	委員 3 人 増田理子（学識経験委員）、石橋健一（学識経験委員）、北野真希（公募委員）
報告事項	第 4 次長久手市環境基本計画の改定について
公開・非公開	公開
傍聴者人数	0 人

議題 第4次長久手市環境基本計画の改定について	
事務局から別紙1・2に基づき説明。	
エコチャレンジのポイントの市内の店舗等との連携方法について	
委 員	P.56に「ポイントやサービスの付与は市内の企業や店舗等との連携を検討します。」とあるが、現段階のわかる範囲で、連携の方法や活用の仕組みを知りたい。
事務局	現段階では市内の企業等とは連携していない。現在は市民からエコ活動の実施を報告してもらい、獲得ポイントに応じて、交通機関に利用可能なプリペイドカードやエコバックなどのエコグッズを配布している。今後は、他課で行われているように市内店舗の協力、協賛、提供品等を募って、それらを配布したい。市内店舗と連携、提携して、市域全体で親しまれる事業としたい。
会 長	他市でもポイント制度を運用しているところはある。効率的・効果的な制度を検討してもらいたい。

次世代素材の太陽光パネルについて	
委 員	今後、ペロブスカイトのような次世代素材を使用した太陽光パネルの導入を検討しているか。
事務局	情報収集しつつ、検討していく。ペロブスカイトについては、策定中の地球温暖化対策実行計画 - 区域施策編 - で明記している。

電子媒体を活用した見える化について	
委 員	多くの人から行政の「見える化」ができると良いと聞くが、どのようにするといいのか分からず。 広報や市が運用するLINEに環境に関する情報を集約すると、市民が少しづつ情報を収集できるのではないか。 紙と電子両方の媒体を利用することで、様々な世代に行政の見える化ができると考える。
事務局	現在、広報やHPへ行政情報を掲載しているが、委員の意見にあるように市からの情報発信が断片的になっていることがある。関係各課、特に情報課と意見交換し、様々な世代に分かりやすく情報提供ができるようにしたい。
委 員	タイムリーな情報を提供する方法としてLINEを検討していただきたい。この情報ツールでは、市民が興味を持ち、活動が広がっていく実感があるため、市の活動の宣伝ツールとして検討してほしい。
委 員	現在、見える化として数値による評価を行っているが、見える化した先には行動があると思う。見える化によって現状を把握した上で、施策を検討していくことになると考える。

事務局	具体的な施策については、今後検討していく。
会長	行政の「見える化」は非常に重要なので、引き続き事務局で検討してほしい。
会長	それでは、この「第4次長久手環境基本計画 - 改訂版 - 」に関して他に意見等がなければ、この計画内容で以って市長へ答申することとして、よろしいか。

委員全員 異議なし

その他	
事務局	今後は、この計画内容で以って伊藤会長から市長へ答申いただき、今年12月から来年1月にパブリックコメントを実施する。3月に策定を完了し、市HPへ掲載する予定である。

以上